

山口 敏子 議員



火葬場は待合室以外にも エアコン設置を



問

市火葬場【鍋田町地内】

(1) 市火葬場の委託係員は丁寧で服装も整い、厳粛に

施設である。待合室棟から庭、緑地帯もきれいに整えられている。

行われていると聞いている。

ペット専用の祭壇も小部屋にくくられ、犬猫の動物置き場として整えられた。(23年度から行われた)業務委託のよいところが出ていると思う。

誰でも一度はお世話になる、避けては通れない大切な

緑豊かな美しい環境の中で、より整備された市火葬場として運営されることを希望する。

私が兄を送った川崎市では、2カ所の(公共)斎場があり、建物は重厚な石づくり、中は大理石風の床で、とてもゆつたりとしており、炉の間隔も広くとってあった。

このホールは冷房が効いており、職員もきちんとした服装で対応し、最期のお別れも厳粛に終わり、心からここで送れたことをよかったと思った。

近年の夏は、大変暑い日が続いている。市火葬場は、最後の別れの場所として、集骨などの儀式が行われるが、暑いからといって、窓扉などを開けるわけにいかない。

遺族のことを思えば、ここに空調設備を調べてはどうか。

(2) 待合室が1棟増築され、以前は(火葬の立会いは20人以内にと、厳しい人数制

限があったようだが、今はどうなっているか。

設置の方向で考えていきたい

答 環境課長

(1) 火葬場は昭和50年から稼働し、現在に至っている。運転開始時は空調設備がなかったが、時代の流れで待合室は夏はクーラー、冬はガスストーブを設置し、長い間経過してきたが、おとしとこととして、エアコンに改修した。

昨今、非常に暑い日が続き、熱中症になりやすくなっている。特に斎場内はガラス張りで日当たりもよいため高温になりやすく、冬は非常に寒い環境となっている。

今後、空調設備を設置していく方向で考えていくが、関連工事も発生するため、検討させてほしい。

(2) 一応、30人以内となっている。